



## ◆Topic◆ **新テスト 現高校生には関係ないの? ~入試はどうなるのか~**

今の中学3年生が大学受験をする年(2020年度の高3生)、今のセンター試験に代わって「新テスト(大学入学希望者学力評価テスト(仮称))」が実施されます。「マーク方式ではなく記述式で実施」とか英語の「『書く力』や『話す力』を評価する」など様々な噂を聞きます。4月の新聞記事では、国語の記述式は80~120字程度で答える。英語は英検やTOEIC、TOEFLといった民間テストを活用する方向で話がまとまりつつあるようです。マーク方式は無くなりませんが、新たな方式が付け加わる感じになります。

ではこの新テストは今の高校生に無関係なのか?というそうはいきません。新テストは受けませんが**新テストや新たな学力観を想定した**特別な入試や入試問題が年を追うごとに増えています。来年度新たな方式を導入するという具体例を挙げます。

### 【中京大学】

国際英語学部・・・アクティブ型入試 学外ツアーに参加し外国人とコミュニケーションをとることなどを中心に行動を評価される入試。

経済学部・・・単位認定型入試 夏休みに集中講義を受けその内容の理解を問われる。(入学後の単位に認定される)

など中京大学には他にも新たな入試ができるそうです。

### 【九州工業大学】

英語の外部検定結果を入試の得点に換算または加算するそうです。具体的には以下の通り。

工学部(前期試験&推薦) 英検1級またはGTEC-CBTスコア1370だとセンター試験に30点を加算、2級または880だと4点加算

情報工学部(前期試験&推薦) 英検2級だとセンター試験のリスニング(50点満点)を45点とみなす

つい最近(5月1日~10日まで)ご来校いただいた大学だけでこんな情報が耳に入りました。入試がどんどん変化しています。みなさんに必要なことは、変化に惑わされることなく基礎学力を高めることと併せてその他に自分にできることは何かあるかを考え自分が勝負する土俵を決めることではないでしょうか。今まで以上に自身を見つめ、自分の未来を考えること、しかも早めに考えることが求められています。(文責:岡崎)

## ♪3年の窓♪ **第1回全統マーク模試を終えて**

高校生活最後のスポーツ交流大会が終わり、部活動でも引退を迎える生徒が出てきた今日この頃ですね。

さて、5月7日GW最終日に受けたマーク模試の結果はどうでしたか?志望校合格基準やこれまでの自身の勉強の過程を考えて妥当な得点でしたか。今回の模試結果を見る限り、前回2年生マーク模試と比べて苦戦している人が多くいるように感じます。今回、現文や数ⅠAでは平均点5割ほど取れていましたが、そのほかの科目は4割を切っており、とても厳しい結果だったのではないのでしょうか。

この結果に落ち込んで、「できない」「もう自分はだめだ」と思っていないですか?まだまだここからです。マーク試験の点数は数日では簡単に上がりません。何カ月も継続した学習がある日ぱっと花を咲かせるのです。センター試験は1月です。12月にググッと成績が急上昇する生徒は何人もいます。ただその生徒たちの多くは、4月から粘り強く学習を続け、10月ごろに少しずつ上がり始め、上昇の12月を迎えます。

ここからは夏までは「継続した基礎基本の受験学習」に取り組んでください。あきらめず努力することで自分の進路を勝ち取りましょう。また、今回の模試がうまくいった人!この結果に甘んじて勉強を怠ると痛い目に遭います。基礎基本をおろそかにしない継続した学習をしてください。

学習はもちろん、学校行事も今年が最後です。ここで学べる事も

あるので、楽しみながら個性を生かして積極的に活動してもらいたいです。(文責:渡邊完)



## 『2年の窓』 いよいよ2年生

皆さんが2年生になって、早いもので1カ月以上が経ちました。1年生の時を振り返り、学習に対する変化は何かありましたか？

さて、修学旅行がいよいよ間近に迫ってきましたが、2年生の皆さんに意識してもらいたいことが2点あります。まず1点目は、1年生の時よりも家庭での学習時間を必ず多く確保することです。2年生から文系では地理歴史、理系では理科の学習が本格的にスタートしました。それ故、小テストや課題、予習・復習に必要な時間も確実に増えます。そして、それらに対応するには1年生とは違う学習スタイルで臨まなければなりません。学年が上がった皆さんの、「新たな」学習への取り組み方に期待しています。

2点目は、自ら物事（学習事項の中身）を考える姿勢を身に付けることの大切さについてです。既にご存知の人もいるとは思いますが、2020年からセンター試験が廃止され「思考力・判断力・表現力」をより多く問う試験に移行します（皆さんは現行のセンター試験を受験しますが）。そして、それに向けて移行前の現段階から、定期考査や入試において「自ら考え表現できる力」を問う問題が増加していきます。したがって、ただ「単語」や「文章」の丸暗記ではなく、覚えた知識を活用して自ら表現する力を、日ごろから意識して養う必要があります。多治見高校が推進しているアクティブラーニング型授業なども活用して、是非そのような力を身に付けて下さい！

（文責：立田）



## 『1年の窓』 高校の勉強！ここがポイント！

入学して1か月が過ぎました。高校での授業には慣れましたか？授業の変化に戸惑って、先生の重要な話を聞き逃したり、授業の内容を十分に理解できなかったりすると、授業についていけなくなることも大いにあります。当たり前ですが、ここで

### 『授業を理解する4つのコツ！』

#### 1 予習⇒授業⇒復習の習慣を付ける

高校の授業は内容が難しく、進むスピードが速い。きちんと理解するためにはこのサイクルを習慣づけ、それを毎日繰り返すことが大切です。

#### 2 先生のポイントを押さえる

授業中は集中して、先生が「ここが大切」と強調した部分はノートにメモをし、印をつけて後から見直す時に役立てよう。

#### 3 わからないところは質問する

わからなかったところはすぐに先生や友達に質問して解決し、実際に問題を解いて、知識の定着を図ろう。

#### 4 スキマの時間を活用する

電車などの通学時間や休み時間を有効活用しよう。

### 先輩に聞く！

『予習に重点を置くべき科目BEST3』

1位 英語 2位 古典 3位 数学

『復習に重点を置くべき科目BEST3』

1位 数学 2位 英語 3位 物理・生物

早く高校生活に慣れて部活動との両立を目指していこう！！

（文責：西崎）

